

「夢」とは 心が満たされることである。すべての利用者様に医療・福祉を介して夢を実現する。

入所フロア

こんにちは、入所2階です。2階では今月、おやつバイキングを行いました!色々なおやつをたくさん用意し、利用者様の皆様に各々好きなものを取っていただきました。皆さん美味しそうに召し上がられて下りました。



デイフロア

皆さまこんにちは(*^^*)冬に降った雪もあっという間に溶けて春の陽気となって参りました♪北海道の暖かい季節は短いですが、寒い季節がくるまで楽しみたいと思います。4月に入り、世の中新年度を迎えております。新入生や新社会人の初々しい姿を見ると自分もこんな時期があったんだなぁと懐かしい気持ちになります。さて、今月のデイケアの様子ですが『おやつ作り』を行いました♪パンケーキの上にフルーツとホイップクリームをのせて、トッピングをおこない皆様にはおいしいと好評いただきました(*^^)vまた、少しコロナが収まってくれれば行事も行っていけるとと思いますので今後も楽しみにしてして下さい(^^)/



デイケアのホールには、ホワイトボードに今日の日付と、体操・レクリエーションが書いた物があり、そこの空いたスペースに定期的に絵を書いています♪今回は好評を頂いたので載せておきたいと思います。リクエストがあれば書いていこうと思いますので、デイケア主任までお知らせください(^^)/



『おおまがりせいぶ・人事典』 ～私たちの尊敬する人たち～

●伝えていきたい人…守谷 眞一さん

自分史『時を刻んで』を執筆された守谷さん。今回その経緯とこれからの思いについてインタビューした。

『自分史を作成した経緯』

自分の一生を子供、孫たちに残したいと思い、10年前から自分史を書き始めた。中断もあったが、病気がわかり、生きるということを再確認した。再度自分史を作り始め、最終まとめはR4年1月。妻の協力もあり完成。作製した100冊すべてを関係者へ配布。たくさんの方から感想をいただき、ありがたく、うれしい気持ちとなった。

『反響』

読んでもらったことで、感想をお返してもらえた。同年代の方で同郷の方がいた。川遊び、長屋社宅での生活は同じだったとの感想をもらえた。学校、同郷、色々な話から接点が見つかり、つながり、ご縁を感じた。お酒を飲みながら話をしたいねえと言ってくれる方も何人もいた。しばらく会っていない方と連絡を取る機会となった。

『執筆する上で意識したこと、感じたこと』

格好をつけない。ありのままに書いたつもり。率直に、難しい言葉を使わず、わかりやすさを意識した。読みやすい長さの文章にした。文章を書くことは恥をかくことだと思う。自分を着飾ってしまうと、本当のことが書けないため、それは意味のないこと。原稿は倍以上あり、それをカットして編集した。期待に応えられたか、裏切ってはいなかったか、その時のことを思い、反省、冷汗をかきながら書いた。多くの人たちから温かく見守ってもらい、支えてもらい、背中を押してもらえたと書いていくうちにわかることもあった。子供時代の記載は子供に戻って子供の目線で書いた。(裏面へつづく)



上: 自分史「時を刻んで」と守谷さん
下: お洒落な表紙デザイン

子供時代は霧がかかっているような記憶。1つの事実から書いていくと関連した事実が見えてきて、少しずつ霧が晴れていき、書いていくうちに広がり、深まった。学生時代は子供時代とは違い、自分だけではなく、周りの人のことを思うことができるようになり、周りの人が感じていたであろうことも描けるようになった。

仕事、ボランティアでの守秘義務があるため、教え子のこと、ボランティアで携わった方への思いはたくさんあるが、それは一切書いていない。最初にした時の心境と、現在の心境もまた違う。10年前はもっと力が入っていたかな。

病気がわかり、死を意識した。他人の評価、たくさんのお金は本当に価値のあることかと考えた。飾らない。裸の自分、ありのままの自分を見てもらい、接してもらえれば良いと思うようになった。同様の経験をした方の本には同様のことが書いてあるが、自分で体験して初めて実感できた。

『記録すること』

記録されないと昔の日本の生活は誰もわからなくなる。戦争体験の話、戦後の苦勞が、埋もれていくため、もったいない。

守谷さんには大曲地区社会福祉委員会、地域活動で大変お世話になっている。いつも丁寧な対応をして下さり、とても話しやすい。責任感を持った活動をされ、発言する言葉に筋が通っており、それでいて温かさや優しさがあり、周囲からの信頼が厚い。なぜそのような振る舞いができるのか知りたいと思っていたが、今回のインタビューで少しだけ知ることができた。本当にありがとうございました。(文責:佐藤信一郎)



2017年ふれあい懇親会で実行委員長として挨拶

『これからの人生の過ごし方』

お金、名誉、人からの評価は何にもならないことを実感した。死ぬときに何も持っていけない。誰かがそばにいてくれ、声をかけてもらえたら幸せ。凝縮した人生、濃い人生を送りたい。喝采を浴びることではない。おおげさではなく、自然な形で、自分が人の役に立ち、自分がああ良かったと思う。自分が納得することをしていきたい。「そばにいて安心する存在、和む存在、いてほしいと思われる存在でいたい」。自分も楽しいと感じる良い時間を過ごしたい。体調が回復すれば、地域活動を再開したい。「ゆとりの」のような場所が各所にあり、行きたい時に行ける。薄く、広いつながりができると良い。



SNSも宜しく
お願いします

北広島市にし高齢者支援センター ☎370-3922



YouTube チャンネル



Instagram



Twitter

リハビリ通信 ～身体を紡ぎ心も紡ぐ～

5月になり散歩をするにも温かい季節になりましたね。そこで今月は歩くためにサポートしてくれる福祉用具を一部紹介させていただきます。

＜固定型歩行器＞

四脚すべてにゴム製のキャップがついており、滑りにくく、荷重したときの安定性が高いことが特徴です。進む際は、歩行器を持ち上げて前方に置く、歩行器に荷重をかけながら脚を踏み出します。タイプによってはキャスターがついているものもあります。杖では不安定な方や足の免荷が必要な方が対象になります。持ち上げる腕の力が必要となります。



＜肘支持付き歩行器＞

病院などでよく見かけるタイプになります。手や腕の支持があるため、下半身の筋力が弱い方でも移動することが可能です。小回りが利きづらいことやブレーキがないため注意が必要です。



＜シルバーカー＞

買い物時の荷物の収納が可能であり、歩き疲れた時に休憩する椅子の役割も担っております。そのため外出する際に使われることが多いです。介護保険適応外となります

●コンパクトタイプ

持ち運びが便利であり、移動しやすいですが、荷物の収納量が少なく座面が比較的小さいデメリットがあります

＜シルバーカー＞

●ボックスタイプ

大容量の収納と座面が広いことによりしっかりとした安定性があります。車体が重いため、小回りが利きにくいデメリットがあります。



＜歩行車＞

シルバーカーに比べ、ハンドルタイプや肘で支えるタイプもあり歩行安定性や駆動性が高く種類も豊富となっております。簡易的な荷物を入れたり、スピードを抑制することのできるタイプもあります。歩行車の重量やハンドルの高さでも移動に影響を与えますのでその方に合ったものを選定することが重要となります。



No.②① S・Rさん

質問：①翔仁会を選んだ理由。②同僚、上司などとの忘れられない出来事。③ひとこと。

- ①もう少し人と深く関わる仕事がしたいと思っていたところに、翔仁会の包括の介護支援専門員の募集があり、応募させていただきました。
- ②2年目位だったと思いますが、地域に向けての事業の運営会議で、これからどのようにするのか話し合っていました。しかし意見が真っ二つに分かれて、内心どうなってしまうのかと思っていましたが、話し合いを進めていくうちに、自然と一つの意見にまとまったことがありました。こうして話し合いすることでちゃんとわかり合えるんだとその時に学びました。このメンバーがいたから楽しく仕事が出来てきたと感じています。
- ③訪問して話を伺うことで、利用者さんに元気を頂くことが多いです。自分も人に元気をあげられる存在になりたいと思っています。若い人には仕事の中で、大変なことやつらいことも多いと思いますが、経験することで、きっと自分の力になると思います。

理美容室 のお知らせ

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、延期しておりましたが4月に三日間実施することができました。次回は6月予定となっております。

編集後記

.....

数年前の本紙面で宣言した目標が先日達成できた。不特定多数の人に向けて宣言したことで、目標達成に対するモチベーションが高い状態で維持できた。また、宣言したことにより周囲の人たちの応援が得られ、同時に多くの人と繋がれたことは私の財産となった。目標を持って行動することは大袈裟な表現ではなく、生きる上で大事だと実感した。専門職として、人として、更なる高みを目指して精進していきたい。



医療法人社団翔仁会

介護老人保健施設エスポワール北広島

〒061-1264 北広島市輪厚704番地16 TEL.011-376-3911 FAX.011-377-5621